

芸術文化の発展に貢献

「教育文化奨励賞」に4氏1団体を表彰

市教育委員会は、教育の振興及び芸術文化の向上につくした市民などに贈る「教育文化奨励賞」を4氏1団体に贈りました。この賞は、昨年度から新しく設けられた制度で、今年で2回目です。表彰式は、5月3日、富士商工会議所で行われました。

絵画活動の普及に



石田善彦さん
富士本町(75歳)

本市洋画壇の先駆者の一人であり、独得の画法は端麗な調和と自然な表現で、写真派の規範に基づくものと定評がある。

昭和35年第1回市美術展以来17年間成人学校の講師として、若い美術家の養成に努力した。

教育書道の振興に



貫名 實さん
松岡(71歳)

昭和22年、町立富士中学校の国語教諭として勤務し、その後、吉原高等学校等の教員生活の25年間、毛筆習字の普及と向上の道を歩む。昭和52年、富士書道連盟の会長に就任する一方、市書道展協力委員を永年努める。

茶道の普及向上に



庭山 くにさん
本市場(72歳)

今日の本市、茶道文化の隆盛発展をきわめる基盤づくりを果たす。昭和31年、市文化連盟の発足以来、常任理事をつとめ、昭和48年、表千家心和会を結成。会長として指導力を発揮し、茶道グループの育成等にも尽力。

文芸活動を推進



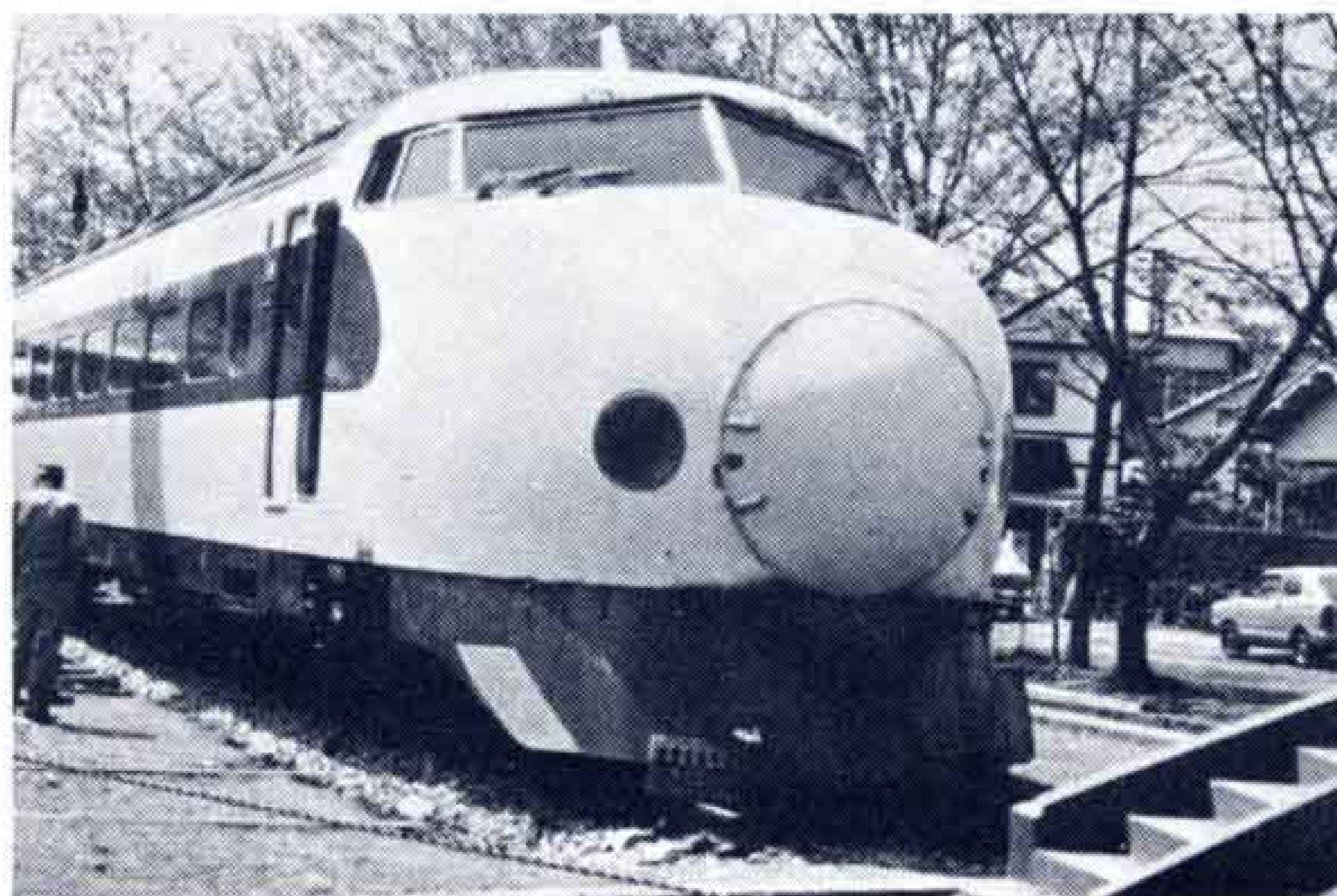
水城 孝さん
三日市(62歳)

新ロマン主義の北原白秋などに師事し、新しい時代の自由な人生感湧れる歌風をもって、中央文壇で活躍。昭和21年、愛好者を募り吉原短歌会を結成。41年、十字路短歌会を結社し、本市の文芸活動の推進を実践。

貴重な民俗芸能を伝承・保存

鵜無ヶ渚神楽保存会

昭和35年、町内の有志が集まり、当初15名で神楽保存会を結成。その後、会員も増え町内ぐるみの支援体制が整う。心のふるさとである祭典での披露はもとより、市主催の成人式行事にも参加出演するなど、本市の貴重な民俗芸能として評価が高い。



新通り町公園にお目見えの新幹線

ひと足先に新幹線停車

新幹線車両が富士警察署裏、新通り町公園に展示されました。この新幹線は「こだまK-11号」の1号車で、43年3月製造され、58年2月廃車まで15年間に521万1千キロも走ったというもので子供達の夢を育て健全育成に役立てばと、高木一三さん(柏原2)の理解によるものです。

市は、化粧直しのあと内部の一般公開をします。一般公開は、5月15日の第3日曜日(祝日)から、毎月第1、第3日曜日、10:00~15:00まで。(雨天中止)